

南小国町観光基本計画（素案）に関する意見公募（パブリックコメント）における、いただいたご意見に対する町の考え方について

令和7年3月21日から28日まで実施しました意見公募（パブリックコメント）におきまして、ご意見をいただきましたので、ご意見に対する町の考え方を次のとおりお示しします。

【ご意見①】

現状課題として、営業状況を維持していく中で雇用しなければならない方々の住居が町内にそもそも足りていないと考える。

雇用拡大や新規起業や販路拡大を掲げることはよいと思うが、小国郷内の深刻な少子高齢化に向け、現状の営業状況を継続すること自体難しくなる中、上げている施策（空き家バンク活用・リフォーム補助金等）のみで十分であると考えますでしょうか？

【町の考え方】

住居の確保につきましては、町としましても課題であると認識しており、今回の計画においても空き家バンク制度の活用やリフォームなどの住宅整備に係る補助金制度の活用等の取組みについて記載しております。住宅の整備につきましては、整備のための財源を確保していくことも必要であるため、どのような方向性で住宅を確保していくことが良いのか十分検討したうえで、本町の実情に則した住宅確保に向けた取組みを進めてまいりたいと思います。

【ご意見②】

昨今、各地での自然災害が予想の範疇を超えるものがある。とくにこの冬は山林火災が各地にて報道された。

有事の際の、住民や今来ている観光客にはもちろんのこと、これから来ることを予定している観光客への正しい情報発信や、各支部、マスコミとの連携に関してはいかように考えますでしょうか？

【町の考え方】

災害をはじめとする有事の際に正しく情報発信をしていくことは観光地にとって非常に重要なことであると考えます。今回いただいたご意見につきましては、「関係各所と連携した情報発信の仕組みを整備します。」という内容で計画の中に盛り込ませていただきます。

【ご意見③】

熊本地震、九州北部豪雨の際に発生した道路のクラックや石垣の割れ等に関して、まだ修繕が行き届いていない箇所がある。

すべてを一気に直すための予算組みは難しいとは理解しているが、これからの２次被害防止の観点からも、観光客の歩行や交通が多い箇所に関しては迅速に対応をお願いしたく存じます。

【町の考え方】

今回のご意見に関しましては、ご要望として承らせていただき、関係課に対しても情報提供させていただきます。